

解答

52・53ページ

中学入試レベル攻略問題

1 I イ II エ

2 ① (例) ナイル川流域で、アスワン・ハイ・ダムの建設が始まり、ヌビア遺跡が水中にしみそうになった。

答え合わせの基準 左のように書ければOKだよ！

内容 ⑦ 「ナイル川(流域)」

④ 「アスワン・ハイ・ダムの建設が始まった」

⑤ 「ヌビア遺跡が水中にしみそうになった」

※⑦④⑤の内容を入れよう。

2 (例) ヌビア遺跡の救済を世界中に呼びかけた。

答え合わせの基準 左のように書ければOKだよ！

内容 「ヌビア遺跡の救済を呼びかけた」

3 ① イタリア ② アメリカ ③ カナダ

A 文化 B 自然

4 (例) ヨーロッパの国々が多く、アフリカが一国もないこと。

答え合わせの基準 左のように書ければOKだよ！

内容 「アフリカが一国もない」

文末の形 「～こと。」

54・55ページ

ポイント2 ワーク

ワーク1 ① ナイル川(流域)

② アスワン・ハイ・ダムの建設

③ ヌビア遺跡

④ (例) ユネスコが世界遺産条約を成立させた。

答え合わせの基準 左のように書ければOKだよ！

内容 「ユネスコが世界遺産条約を成立させた」

または「世界遺産条約が成立した」

ポイント3 ワーク

ワーク2 ① 文化遺産 ② 自然遺産 ③ 複合遺産

ワーク3 文化遺産

54・55ページ

ポイント2 ワーク

出来事を「いつ・どこで・何が・どうした」に注目してとらえる

ワーク1

②・③をふくむ文は、一九六〇年代のエジプトのナイル川流域で「何が・どうした」のかを、か条書きで示しているね。④も「何が・どうした」という形で簡潔にまとめよう。

ポイント3 ワーク

図表の内容を正確にとらえる

ワーク2

日本の世界遺産の内訳は、どの色が、何を表すかに注目してとらえよう。このグラフは、ふつうの棒グラフではなく、内訳もわかるように工夫されているね。

ワーク3

円グラフは、各項目の全体にしめる割合がわかりやすいよ。グラフのの部分に注目すると、文化遺産の、世界遺産全体にしめる割合の大きさがわかるね。

ここで学んだ 難問攻略 解き方テクニク

- 資料を使う問題は、まずは資料の内容を正確に読み取ることが大切。
- 出来事は、「いつ・どこで・何が・どうした」を、図表は、表題と各部分が表示することがらをおさえて読む。

解説

52・53ページ

中学入試レベル攻略問題

今回の資料は、「世界遺産条約」について、図表を使いながら説明していたね。出来事や図表を正確に読み取れたかな？



1 <小見出しをつける問題>

I 世界遺産条約で保護・保存されるためには、「世界遺産」として登録されなくてはならないと書かれているね。↓II 「グラフ」から問題点を挙げ、「このような世界遺産登録地の今後の課題の一つといえる。」と書かれているね。↓I

2 <出来事をとらえる問題>

①のまとまりの二つ目の段落に、「このヌビア遺跡の出来事を受けて」とあるので、一つ目の段落のヌビア遺跡の説明を、「いつ・どこで・何が・どうした」に注目してとらえよう。

3 <図表の内容をとらえる問題>

A・B グラフが色分けされているときは、それぞれが何を表すのかを正しくおさえよう。ここでは、が文化遺産、が自然遺産、が複合遺産だね。

さらに役立つ！

グラフは数量を表すものなので、基本的な作業として、何の数量が最も多く、何の数量が最も少ないのかをおさえておこう。

4 <図表の内容をとらえる問題>

最後のまとまりに注目しよう。筆者は、「グラフ」にアフリカが一国もないことに着目し、今後の課題を述べているね。